

# 建設産業における業務のオンライン化・デジタル化

## — 新型コロナ禍における公共事業の推進 —

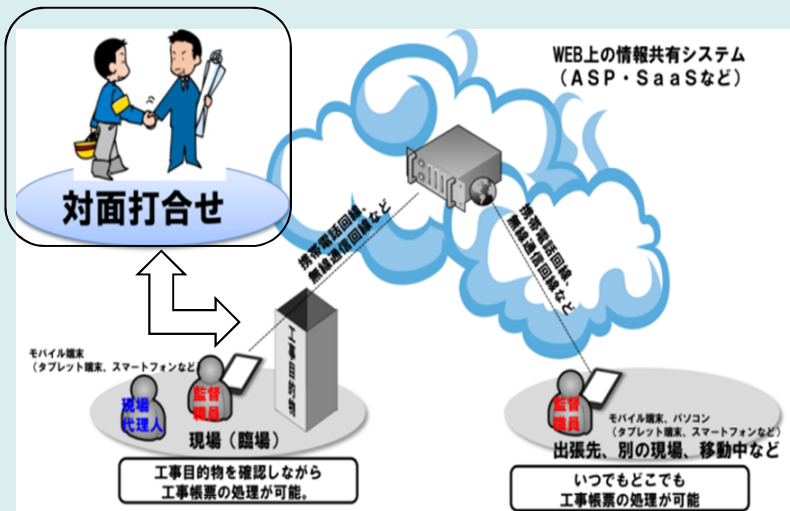
### <背景～求められる新型コロナ禍での公共事業推進～>

- ◆ 国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において社会の安定維持の観点から、**公共事業は緊急事態宣言時でも事業の継続**が求められています。
- ◆ 一方で新型コロナの影響により、生活基盤のみならず**建設産業においてもオンライン化・デジタル化が必要不可欠**。
- ◆ そのため県では、コロナ禍においても着実に公共事業を推進するため、建設産業における**業務のオンライン化・デジタル化を目的とした環境整備**に取り組んでいます。

### 事務作業におけるオンライン化

#### 【①ASP（情報共有システム）の活用】

・情報共有システムはインターネットを介して、「県側」と「業者側」が相互に書類提出や整理等を行うことで、**単純な作業時間を短縮し、重要な受発注者間での対面打合わせや現場立合に費やす時間を拡充するシステム**



**工事書類を約5割削減 & 移動時間短縮**

#### 【②Web会議の推進】

・土木部では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や職員の働き方改革を目的として、「土木部Web会議推進チーム」を結成して、Web会議の活用推進や部内のオンライン環境整備を行っている。



### 建設現場におけるデジタル化

#### 【TS(トータルステーション)の活用】

・目標への自動追尾機能を装備した機種 (TS) を用いて測量することで、作業員の省人化を実現。作業効率がUP。



【撮影協力】高橋建設株式会社 (行方市)

## 業務のオンライン化・デジタル化

⇒**コロナ対策のみならず働き方改革・生産性向上にも寄与**